

の扱 めい や時 す数	ねらい	教材(◎鑑賞教材 ☆音楽 づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	曲想と、リズムやその反復との関わりについて気付くとともに、拍に合わせてリズム表現する技能を身に付ける。	ぶん ぶん ぶん しろくまの ジェン カ ◎ジェンカ	○「たん」「うん」の手拍子や手合わせを取り入れながら、拍に合わせて「ぶん ぶん ぶん」を歌う。 ○ジェンカのリズムパターンを意識して、鑑賞曲「ジェンカ」を聴く。 ○鑑賞曲「ジェンカ」に合わせて、ジェンカのリズムパターンを打ったり、体の動きで表したりする。 ○「しろくまの ジェンカ」を、ジェンカのリズムパターンを打ったり、ステップをしたりしながら歌う。	【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、互いの声や伴奏を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム打ちしたりする技能を身に付けている。 【知-①】 「ジェンカ」の曲想と、リズムやその反復など音楽の構造との関わりについて気付いている。 【主-①】 拍に合わせてリズムで表現することや歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2	リズムの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、リズムづくりを通して音楽づくりの発想を得る。	☆たんと うんで リズムを つくるう	○「たん」と「うん」のリズム打ちでまねっこしながら音遊びをする。 ○「たん」と「うん」を組み合わせたリズムをつくる。 ○つくったリズムを友達とつなげて発表をする。 ○体のいろいろなところを打ってリズムを表現する。	【知-②】 身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。 【思-①】 リズムや拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。 【技-②】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。
2	いろいろなリズムを表現したり歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	おさるの だいく さん	○「おさるの だいくさん」の面白いところや歌詞の様子を思い浮かべながら歌う。 ○「たん」と「たた」のリズムや自分でつくったリズムを打ちながら、拍にのって歌う。	【主-②】 拍に合わせて歌詞の様子を思い浮かべながら歌うことやいろいろなリズムで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

＜コー ナー 名＞ (扱い時 数・扱い月 のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例
くにつぼん のうた んなのう た 「うみ」 (共通教 材) (2 時間 扱い・7 月)	(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。 (2) 拍や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	【知-①】 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。 【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。 【思-①】 拍や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 【主-①】 情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

	(3) 情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。
--	--

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例
どれみとなかよし (4時間扱い・9月)	<p>(1) 曲想と音階など音楽の構造との関わりに気付くとともに、音高を体などで表現する活動などを通して、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付ける。</p> <p>(2) 音階、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。</p> <p>(3) 名で表現したり、体などを動かしながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、階名に親しむ。</p>	<p>【知-①】 曲想と音階など音楽の構造との関わりに気付いている。</p> <p>【技-①】 音高を体などで表現する活動を通して、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けている。</p> <p>【思-①】 音階、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。</p> <p>【主-①】 階名で表現したり、体などを動かしながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>

の扱い時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	階名と音高との関わりに気付くとともに、曲想と音階との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎ どれみのうた	<p>○「どれみのうた」を歌いながら聴き、階名に親しむ。</p> <p>○「どれみのうた」を、音高に合わせて体を動かしながら聴く。</p>	<p>【主-①】 階名で表現したり、体などを動かしながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>【知-①】 「どれみのうた」の曲想と、音階など音楽の構造との関わりに気付いている。</p>
2	階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けるとともに、旋律やその変化、音階を聴き取り、曲想を感じ取って表現を工夫する。	どれみのキャンディー	<p>○「どれみのキャンディー」の最後の部分に合わせて、<どれみのたいそう>をしながら歌う。</p> <p>○「どれみのキャンディー」に合った動きや歌い方を工夫して歌う。</p>	<p>【技-①】 音高を体などで表現する活動を通して、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けている。</p> <p>【思-①】 「どれみのキャンディー」の音階、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。</p>

<コーナー名> > (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例
<こんにちばけんぱんハーマニカ> (4時間+毎時 9 ~10月)	(1) 鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、鍵盤ハーモニカの扱い方や鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、思いに合った表現をするために必要な、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付ける。 (2) 旋律、速度、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。 (3) 鍵盤ハーモニカで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しむ。	【知-①】 鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。 【技-①】 鍵盤ハーモニカの扱い方や鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、思いに合った表現をするために必要な、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付けている。 【思-①】 旋律、速度、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。 【主-①】 鍵盤ハーモニカで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例
うたのもりあがり (2時間扱い・10月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律や音階などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 (3) 歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	【知-①】 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。 【思-①】 旋律や音階などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 【主-①】 歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

の扱い時数 やす	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と旋律や音階、歌詞との関わりに気付くとともに、曲想を感じ取って表現を工夫する。	ひのまる (共通教材)	○「ひのまる」を歌詞唱する。 ○体を動かしながら階名唱する。 ○旋律のまとまりを感じ取って歌う。 ○もりあがりを感じながら歌う。	【主-①】 「ひのまる」の歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。 【思-①】 「ひのまる」

			<p>の旋律や音階などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。</p> <p>【知-①】 「ひのまる」の曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。</p>
--	--	--	--

題材名 (扱い時間・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例
ねいろとつよさ (7時間扱い・11～12月)	<p>(1) 打楽器の音やそれらのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなど関わらせて気付いたり、曲想と音色や強弱などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたり、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくりたりする技能を身に付ける。</p> <p>(2) 音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>(3) 様々に試しながら打楽器の音の特徴を見付ける学習などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、様々な楽器の音に親しむ。</p>	<p>【知-①】 打楽器の音やそれらのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなど関わらせて気付いたり、曲想と音色や強弱などの音楽の構造との関わりについて気付いたりしている。</p> <p>【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたり、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくりたりする技能を身に付けている。</p> <p>【思-①】 音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いたりしている。</p> <p>【主-①】 様々に試しながら打楽器の音の特徴を見付ける学習などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p>

の扱い時間	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	打楽器の音の特徴について、それらが生み出す面白さなど関わらせて気付いたり、音遊びを通して、音楽づくりの発想を得たりする。	☆いろいろなおとをみつけよう	<p>○トライアングルで様々に試しながら音を出したり、様々な音の特徴を探したりして、お気に入りの音を見つめる。</p> <p>○いろいろな楽器で様々に試しながら音を出したり、様々な音の特徴を探したりして、お気に入りの音を見つめる。</p> <p>○お気に入りの音を使って、友達と音をつなげたり、音楽の簡単な終わり方を考えたりする。</p>	<p>【思-①】 音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。</p> <p>【知-①】 打楽器の音の特徴について、それらが生み出す面白さなど関わらせて気付いている。</p> <p>【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。</p>

4	<p>音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けるとともに、音色や強弱など聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取ったり、曲や演奏の楽しさを見いだしたりして、曲全体を味わって聴く。</p>	<p>つよさにきをつけてがっきをうったりきよくをきいたりしよう ◎ぜんそうきよく</p>	<p>○打楽器で見つけたお気に入りの音を使って、呼びかけたりこたえたりする。 ○「ぜんそうきよく」を、強弱や打楽器の音色などに気を付けながら聴く。 ○「ぜんそうきよく」を聴いて、曲や演奏の面白いと思ったところや楽しいと思ったところを考えて、友達に伝えたり、言葉などで記述したりする。</p>	<p>【主-①】 打楽器の音色や演奏の仕方などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-②】 打楽器の音やそれらのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 【技-②】 思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。 【思-②】 音色や強弱、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもっている。 【知-③】 曲想と音色や強弱などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 【思-③】 「ぜんそうきよく」の音色や強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。</p>
---	---	--	---	---

<p><コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)</p>	<p>目標</p>	<p>学習活動に即した評価規準例</p>
<p>くうたで まねっこ (4時間扱い・1~2月)</p>	<p>(1) 曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付ける。</p> <p>(2) フレーズや呼びかけとこたえなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。</p> <p>(3) 聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、交互唱に親しむ。</p>	<p>【知-①】 曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けている。 【思-①】 フレーズや呼びかけとこたえなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 【主-①】 聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>

の扱 め や す 時 数	ねらい	教 材 (◎鑑 賞教材 ☆音楽 づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と呼びかけとこたえなどとの関わりに気付くとともに、聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しむ。曲想と呼びかけとこたえなどとの関わりに気付くとともに、聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	もりのくまさん	○「もりのくまさん」をいろいろな強さを試しながら交互唱する。 ○1～5番それぞれの歌詞の内容を考えながら、どのように歌うか意見を出し合って試す。	【知-①】 「もりのくまさん」の曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【主-①】 聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2	声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けるとともに、交互唱の面白さを感じ取りながら表現を工夫する。	フルーツケーキ	○「フルーツケーキ」を、打楽器を加えて歌う。 ○歌う強さをまねたり、違う強さで歌ったりして交互唱する。	【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けている。 【思-①】 フレーズや呼びかけとこたえなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、「フルーツ ケーキ」の曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例
〈おとの スケッチ〉 ねこの なきごえであそぼう (3時間扱い・1～2月)	(1) 曲想と、音色や強弱、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりについて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。 (2) 音色や強弱、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。 (3) いろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中の様々な音や音楽に親しむ。	【知-①】 曲想と、音色や強弱、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりについて気付いている。 【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。 【思-①】 音色や強弱、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。 【主-①】 いろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	
おんがくのながれ	(1) 曲想と、旋律の反復と変化、合いの手など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と、 旋律の反復と変化、合いの手など音楽の構造との関わりに気付いている。

(3 時間扱い・1～2 月)	(2) 旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。
	(3) 曲想を感じ取ったり、音楽が表している情景を想像して聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、標題音楽やオーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を感じ取ったり、音楽が表している情景を想像して聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

の扱い時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と、旋律の反復と変化、合いの手など音楽の構造との関わりに気付くとともに、音楽が表している情景を想像して聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎ おどるこねこ	○拍の流れや、鳴き声に合わせて体を動かしながら、「おどるこねこ」を聴く。 ○「おどるこねこ」の曲の進み方を知る。	【主-①】 「おどるこねこ」の曲想を感じ取ったり、音楽が表している情景を想像して聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-①】 「おどるこねこ」の曲想と、旋律の反復と変化、合いの手など音楽の構造との関わりに気付いている。
1	旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎ おどるこねこ	○曲のよいところ、面白いところをみつけながら、「おどるこねこ」の曲全体を聴く。	【思-①】 「おどるこねこ」の、旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	
〈めざせ がっきめいじん〉 「すずめが ちゅん」 (毎時扱い)	(1) 曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付いている。 思いに合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付けている。
	(2) 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。
	(3) 楽器を演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器を演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	
みんなのおんがく (2時間扱い・2～3月)	(1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりやリズムのつなげ方や重ね方の特徴に気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	曲想とリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。 思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。
	(2) 拍やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもつ。	思考・判断・表現	拍やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもっている。
	(3) 歌詞の表す情景を想像しながら歌ったり、リズムを感じて表現したりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞の表す情景を想像しながら歌ったり、リズムを感じて表現したりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

の扱い時数	ねらい	教材(◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	声を合わせて歌う技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けるとともに、曲想とリズムなどとの関わりに気付く。	おもちゃのチャチャチャ ☆リズムをかさねてあそぼう	○「おもちゃのチャチャチャ」を、曲の気分を感じ取り、歌詞の表わす様子を考えながら、リズム打ちして歌う。 ○リズムを重ねて遊ぶ。	【知-①】 「おもちゃのチャチャチャ」の曲想と、リズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【主-①】 「おもちゃのチャチャチャ」の歌詞の表す情景を想像しながら歌ったり、リズムを感じて表現したりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。 【思-①】 「おもちゃのチャチャチャ」の拍やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもっている。